

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 SPARK KID 岸谷教室		公表日		令和8年 3月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	運動を行う部屋では、体を十分に動かしてほしい活動の際、少人数(3~4名)でグループで分かれて行うこともあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		配置の基準及び加配も満たしているが、活動内容により足りないと感じることがあるため、対応を検討いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	子ども達に余計な刺激にならないよう、掲示物を減らしたり、配置方法を工夫しています。	パーティションのねじ部分が緩みやすいため、日々点検を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃、消毒を欠かさず行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	安全なスペースを確保し、落ち着ける環境を整えております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日、始業時、午後の活動前、終了時にミーティングを行いお子さまの情報の共有を行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		今回初めての評価アンケートとなりました。頂いたご意見をもとに改善に繋げてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日のミーティング等にて意見交換を行い、検討・改善に繋げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	現在は保護者さま・従業員の評価のみ実施しております。	第三者評価の実施につきましては今後検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	作業療法士による内部研修を行っております。	外部研修も視野に入れ、学びの機会を確保し職員の資質向上に努めます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ガイドラインに基づき支援プログラムを作成し、HPで公表しております。	保護者さまへの周知が不十分と感じるため、新たな連絡アプリにて確実な周知に努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	作業療法士である児童発達支援管理責任者が作成したアセスメントシートを使用し、お子さまの現状を分析し、支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員全体でお子さまについて情報共有・意見交換し、お子さまにとっての最善を考え、支援計画を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	ミーティングにて確実に共有しております。また、毎日の記録表に支援計画も記載されており、常に確認ができるようになっております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	保護者さまから頂いた外部機関での検査結果や活動時の行動観察・保護者さまのお話を伺い、常に現状の把握に努め、適切なご支援に繋げております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインに沿って、必要なご支援や目標の設定を行っております。お子さまの特性や発達段階を踏まえ、具体的な支援内容を設定いたします。	

の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	日々の流れを汲みながら、専門職員がプログラムを立案し、全体で把握・修正しながら決定しております。	引き続き、プログラムの方向性、ねらいや関わり方を確認する場を設定し、職員全体で多角的な視点をもって立案するよう努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	近々の内容を振り返り、取り組みの様子を考慮しながら、お子さまが楽しめることを第一に様々な活動をご提供いたします。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	お子さま一人ひとりの発達に応じ、個々の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	活動開始前、30分間ほど、全体ミーティングを行い、お子さまの様子や活動の流れ、役割分担や支援方法、配慮点を伝達および確認を行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	活動終了後30分間ほど、全体ミーティングを行い、その日の活動の様子や保護者さまからの伝達事項の共有を行います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎回の支援の個別の記録は、徹底しております。次回のステップアップや、改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	概ね6カ月に一度、見直しを行っております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	児童発達支援管理責任者を中心に参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	当法人保育園・横浜市東部地域療育センターと情報を共有し、連携して支援を行っております。	当法人外の園との共有も行います。お気軽にお申し付けください。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	当法人保育園とは、お子さまの特性についてのご説明の書類を作成・お渡しし、情報の共有・相互理解を深めるご支援を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保護者さま向け及び就学先へのご提出用といたしまして、お子さまの特性や対応を記載した書面を作成し、お渡しをいたしました。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	センターでの療育クラスに通園されているお子さまにつきまして、情報の共有や活動の見学に伺ったりと、連携を図らせていただきました。	今後、センターが地域に向けた研修を開催された場合には、必ず参加いたします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	令和7年7月にキッズラインさんとともに地域イベント(参加自由)を行いました。	次回は未定ですが、お子さまに楽しんで頂けるイベントを再度開催できればと存じます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	フィードバック時や、連絡帳を通した保護者さまとのやり取りを大切にしております。活動の様子とご家庭での困りを照らし合わせ、課題を明確にし、理解を深められるよう努めております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	プログラムとしての研修の機会は実施しておりませんが、ご相談を頂けた際に、個別でご対応させていただきます。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	ご契約時や内容変更時にご説明を行っております。	いつでもご覧いただけるよう、相談室内に設置しておりますが、周知不足のため、今後は手に取りやすい位置への設置を検討しております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	ご契約後にお時間をいただき、お子さまの様子や保護者さまのお話を丁寧に伺い、支援計画を作成しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	面談のお時間をいただき、一つひとつご説明し、同意をいただいております	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご送迎の保護者さまは、フィードバック時に、連絡帳の保護者さまは1〜3か月毎にご来所頂き、お話を伺っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	令和7年9月に保護者会を開催いたしました。	今後は職員数を確保したうえで、定期的な開催を目指します。加えて、保護者会とは切り離し、交流を深める機会を作るといった、開催方法についても検討いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談や申し入れがあった場合、お電話や面談にて迅速かつ適切に対応いたします。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ただ今、Instagramのみの情報発信となっております。	活動中は職員全体でお子さまと共に活動するため、撮影が難しい状況です。対応を検討いたします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載された書類などは、鍵付きの書庫にて保管しております。また、掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	わかりやすい言葉や、視覚支援(絵や写真カード)を用いて、伝わりやすくしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	季節の行事等は、お子さまの負担になることもあるため、積極的に行っておりません。地域向けとしましては、令和7年7月にキッズラインさんとともにブラレールイベント(参加自由)を行いました。	今後もお子さまの安心できる環境を第一に、いつもの環境の中で楽しめる活動を行ってまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	各マニュアルは全て揃っております。	各マニュアルにつきまして、保護者さまへの周知不足であったと感じます。今後どのようにお伝えをしていくか、検討いたします。職員向け訓練につきましては、十分な時間を作ることが難しい状況でした。今後は業務の改善を図り、しっかりと時間をかけ、いかなる場合にも対応できるよう、訓練を行います。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	避難訓練は法令に従い行っております。今年度は令和7年10月に実施いたしました。職員による避難経路の確認やお子さまと共に実際の手順で一時避難の場所に移動を行いました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	ご契約の際、健康状況もお伺いしております。また、緊急時の連絡票に記入をお願いしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	おやつについて、アレルギーをお持ちのお子さまは、テーブルを個別にし、お皿・コップも専用のものを使用しております。また、ダブルチェックを徹底し、確認表にて準備者・確認者がサインをしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しております。	

50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	安全確保のため、“マチコミ”のご登録をお願いしております。	安全計画の周知や、安全確保のための訓練(マチコミの連絡訓練等)が足りなかったと感じております。今後は安全計画を配布し、周知を徹底いたします。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員全体で共有し、再発防止を徹底しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を実施しております。また、必要に応じ、児童相談所・区の子ども家庭支援課等と連携を図っております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けております。今年度、対象のお子さまは居りません。	今後、必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに、身体拘束の適正化に努めます。